

## 【専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等について】

本学術総会への参加または発表につきましては、公益社団法人日本看護協会の専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等として申請が可能です。手続きには、参加の場合は参加証、領収書のいずれか1点、発表の場合は、目次および抄録が必要です。保管の上、ご自身で手続きをお願いします。詳細は、公益社団法人日本看護協会のホームページをご確認ください。

## 【医療安全管理者養成のための研修について】

■本学術総会の教育セミナー「医療安全」へ事前申込をして参加された方は、履修証明を発行します。

現地参加者のみが対象となります。

※詳細は、日本医療マネジメント学会雑誌23巻1号及び第24回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ(右記記載)を参照ください。

問い合わせ先：

第24回日本医療マネジメント学会学術総会

事務局：地方独立行政法人加古川市民病院機構  
経営管理本部

担当：井上(人事部)

〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439

TEL：079-451-5500(代表) FAX：079-451-5548

運営事務局：株式会社JTBコミュニケーションデザイン

事業共創部コンベンション第二事業局

担当：久保・東山・福島

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25

JTBビル8F

TEL：06-4964-8869 FAX：06-4964-8804

E-mail：jhm2022@jtbcom.co.jp

第24回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページ

<https://convention.jtbcom.co.jp/jhm2022/>

# 第25回日本医療マネジメント学会学術総会開催のお知らせ(第1報)

『病院医療の展望』～「パンデミック・災害とBCP」から「求められる医療」へ～



第25回日本医療マネジメント学会学術総会  
会長 山本 登

(横浜メディカルグループ菊名  
記念病院 理事長)

この度、第25回日本医療マネジメント学会学術総会を2023年6月23日(金)・24日(土)の2日間にわたり、パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)に於いて開催させていただくことになりました。関東での開催は久しぶりで、25回の節目となる学術総会でもあることから、全国各地よりご参集の皆様方のご期待に応えるべく、充実した学術総会となるよう、準備を進めております。

2年以上に亘るコロナ禍で数多くの学会の開催形式は、様々な影響を受けて参りましたが、今回はたとえWITH CORONAであっても、一堂に会する集合形式での開催は可能であろうと期待を込めて予測し、ご案内を致しております。

パンデミックでは多くの医療機関がクラスター・院内感染を経験し、近年は地球温暖化の影響で気候変動が予測を超えた災害をもたらす、医療機関も壊滅的な影響を受けることが稀有では無くなっており、地震災害の際に大きな影響をもたらす活断層は全国各地に網

の目の様に存在しております。まさに明日は我が身の状況ですが、これらの多くはたとえ避け得ない事であっても、影響を最小限にして、いち早く機能を復活出来る様に準備しておくこと(BCP)は、社会的使命を果たすためには最重要課題であり、学術総会テーマの一部として取り上げさせて戴きました。

一方コロナ禍は受療行動の変容をもたらしました。結果として疾病構造も変化しつつあり、超高齢社会、多死社会、人口減へと進みつつある我が国においては、コロナ前の状態の維持・継続で良いのか、各々の医療機関が自らの「やりたい医療」を推し進めていて良いのか、それとも地域社会において「求められる医療」に呼応するべきなのか、公的・私的の役割分担はどの様に考えるべきか、現在進められている地域医療構想の策定にはこれ等の視点、受領者側の視点は反映されているのか、等々、本学術総会ではこの様な事柄を様々な観点から討論して参りたいと思います。

病院医療にとってDX：Digital transformationの導入は不可欠の物になりつつありますが、誰のためのDXなのか、目的、真の受益者は誰なのか、AIやロボット技術、電子カルテ・PACS等の規格統一の問題も含めて議論を深め、将来への展望を示して戴ければと思います。